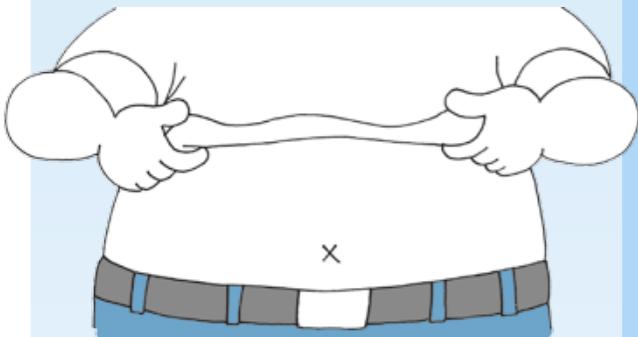


国民健康保険に
加入している皆さんへ
おなかがぽっこりしてきたという
人はメタボリックシンドロームの
危険信号です

受けてください 特定健診・特定保健指導

問合せ 国保年金課国保係
保健センター ☎(48)3751



メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）はおなかの内臓まわりに脂肪がたまることなどにより起こり、進行すると心臓病や脳卒中などの命に関わる生活習慣病を引き起こす危険があります。

そのため、市国保では特定健康診査（特定健診）・特定保健指導を無料で行っています。期限内に忘れずに受診してください。

脳ドック検診（前期）

とき 7～9月

ところ ①市民病院②新川中央病院

内容

基本項目 頭部M R I、頭部M R A、問診など
※脳実質の状態や脳血管の疾患を検査します。

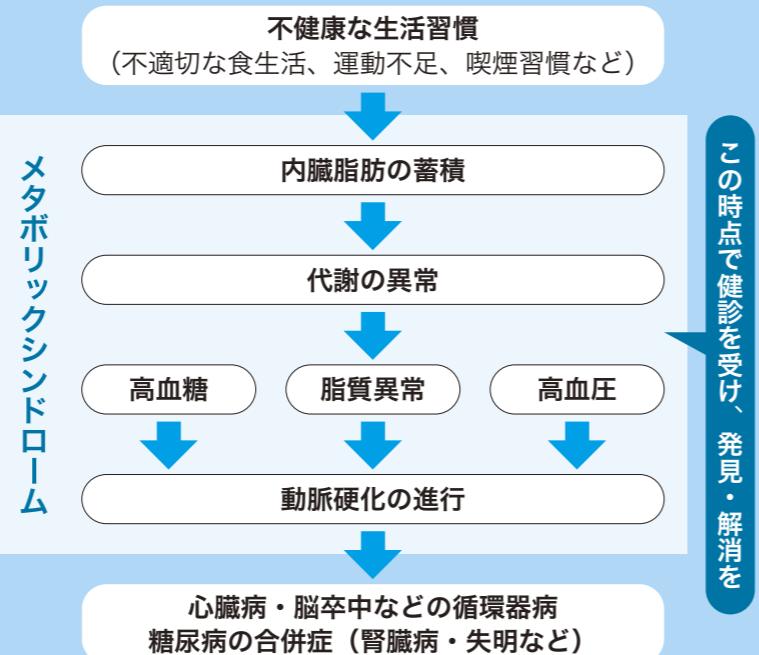
選択項目 ①頸椎M R I（頸部の脊髄の状態を調べる検査）②V S R A D（50歳以上の人に対する検査で、海馬の萎縮を見る検査）

対象 市内在住の40歳以上（昭和52年3月31日以前生まれ）で会社などで受診する機会がない人

・2回目以降の申込みができます。申込み多数の場合は、初回受診の人を優先します。

・脳の病気で治療中・既往歴のある人、体内に金属やペースメーカーなどの機器が入っている人、妊娠中や妊娠の可能性のある人、化粧品や入れ墨に金属粉を含む顔料を使用している人、閉所恐怖症の人などを除きます。

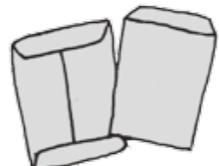
生活習慣病はこのように進行します



特定健診・保健指導の流れ

40歳以上の国民健康保険の加入者および後期高齢者医療保険の加入者に対し、特定健診の受診券を送付します。

①5月31日(火)までに受診券が届く



②受診券、健康保険証、
健康手帳を持参して指定医療機関（9ページ参照）で受診



③後日、受診した医療機関で説明・情報提供



国保加入者には、健診結果に応じて3段階の生活習慣の改善に重点をおいた特定保健指導を実施します。

危険度「低」の人

今後も健康を維持できるように情報提供を行います。

危険度「中」の人

メタボリックシンドロームのリスクが出始めた人を対象に、原則1回の面接による支援を行います。

危険度「高」の人

メタボリックシンドロームのリスクが重なっている人を対象に、継続的に支援を行います。

職場健診の結果表を提出してください

40～74歳の市国民健康保険加入者で職場健診（事業主健診）の対象となる人は、職場健診が優先されますので、特定健診を改めて受ける必要はありません。職場健診の健診内容には、特定健診の検査項目が含まれており、健診結果表を国保年金課に提出することで特定健診を受けたことに代えられます。

しかし、市では職場健診を受けていることがわからないため、特定健診の受診勧奨が届く場合があります。職場健診の結果が出たら、健診結果表を国保年金課へお持ちください。

